



つばさっ子

2012年9月号



今月の予定



8日(土)午前	9:00~11:00	ぱんだ組(給食試食会)
14日(金)午後	18:00~19:30	お月見会(雨天決行)
21日(金)午後	18:30~20:30	きりん・ぞう合同懇談会
29日(土)午前	9:30~11:00	運動会 3・4・5歳児



事務室からお願い



～園をお休みされる時は早めの連絡を～

連絡がなく、お休みされるととても心配します。必ず連絡をいれて下さい。また、連絡が遅いと給食が無駄になってしまいます。遅くとも9時には連絡していただきますようお願いいたします。

※給食室からの切なる思いも載っています。ぜひ読んでください。(P)

～保育時間について～

つばさ共同保育園の開園時間は、朝7:00～20:00ですが、それぞれの家庭の事情やお仕事の時間で異なる保育時間となっています。園は、必要な保育時間に子どもが何名いるかで保育士と必要な人数を配置し、勤務体制を組み、時差勤務しています。止むを得ず保育時間より遅くなってしまう場合は、園にご連絡ください。お仕事の都合上、継続して保育時間を過ぎることが多くなる場合は、別途保育時間の変更届の提出が必要です。ぜひご理解いただき、よりよい園の運営のため、何卒ご協力の程よろしく申し上げます。

ご家庭の保育時間が不明な場合はお気軽に事務室にお尋ねください。



～懇談時の保育利用時、お帰りの際タッチパネルを忘れずに～



地域の小学生たちが素敵なお歌&よさこい!!



つばさが丘北地区の年少～小4による歌とダンス♪つばさホールにて (8/11)

本番は8/18につばさが丘北の夏祭りの舞台上で発表するために練習して、ぜひつばさ共同保育園の子どもたちにも迫力あるよさこいを見てもらいたいとの連絡をもらい、実現しました。

手話付のお歌の時は、立ち上がってノリノリの子、食い入るようにみる子、体をリズムに合わせてゆらゆらしている子、いろんな子どもの姿がありました。

来年もぜひ来てほしいですね。

小学校の先生が研修に来ました

今年新任の熊取町立小学校の先生方がつばさ共同保育園の4・5歳児クラスで研修に来られました。リトミックをしたり、給食を食べ、夕方には水やりも一緒にしました。つばさっ子が小学校へ行ったとき、担任の先生になったりするかもしれませんよ～
今後も交流を続けていくつもりです。



百村先生 山本先生 中川先生 杉野先生 小生先生

ぞうぐみ「お泊まり保育」の思い出フォト

朝起きたらおにぎりが届いてた!!



探検ごっこに行くぞ～探検の地図だー!!



へなそうるからもらったおにぎりで朝ごはん



探検ごっこの最終地点のふれあいルームにて。みんなで歌った「みんなちがってみんないい♪」



園庭遊具づくり、延期します。

市原悟子

現在、園庭には大型遊具がありません。私は4月当初、子どもたちの遊ぶ様子を見ながら園庭の使い方を考えて、間伐材を使ってアスレチック遊具を作りたいと思っていました。しかしもう少し遊具づくりは延期しようと思っ直しています。園庭で遊ぶ子どもたちの様子はあらゆる場所に穴を掘り、その穴を何かに見立て単純な遊びを繰り返して楽しんでいました。大人に支配された遊びではなく、子ども自らがスコップやシャベルを使い周囲の友達とアイコンタクトで共感しながら遊んでいます。「自己肯定感」や「意欲」「仲間意識」が育つ原点は大人からは単純に見えるこのような遊びなのです。時代が変わっても土、水、は何ものにも代えがたい遊びの素材です。そして子どもがどこでも好きな場所に穴を掘れる、この環境を残さなくてはならないと思ったのです。遊具づくりはもう少し先延ばしすることをご了承ください。砂場は限定しないで子どもたちと一緒に場所を考え小山の形で置こうと思います。従来の「砂場」が必要ならばみなさんの力を借りて「砂場」を作りたいと思いますのでその時はご協力どうぞよろしくお願いします。

苦情解決委員と第三者委員をお知らせします。

苦情受付担当、苦情解決委員（市原悟子・仲嶺真弓）

つばさ共同保育園に対する意見や要望など遠慮なく何でも伝えて下さい。直接は言いにくい場合もあるとは思いますがよりよい保育園づくりのためには匿名ではなく顔を合わせて話すことが重要だと思います。職員と保護者は決して敵対関係ではありません。「モンスターペアレンツ」とは決してとらえませんので。是非直接伝えて下さい。

第三者委員 苦情解決委員に言いにくいことは下記の方にお伝えください。

- ・山本 耕平 熊取町つばさが丘北3-14-4 電話 072-487-8414
- ・若柳 みよこ 熊取町自由が丘1-5-17 電話 072-452-4540

夏休みの出欠かなりの誤差がありました。

夏休み事前アンケートにご協力いただきましてありがとうございます。

特にお盆の期間中は予定よりもかなりの子どもがお休みとなり、食材を職員が買い取りして対処しましたが来年はそのようなことのないようお願い致します。

8月13日	事前アンケート結果	48名	出席	29名
14日		46名		23名
15日		45名		20名
16日		65名		43名
17日		76名		62名
18日		48名		19名

講演体験記

仲嶺 真弓

8月21日、福岡に生まれて初めての講演に行ってきました。

実は今回の講演は、園長にきた依頼でしたが、あいにく予定が合わず、それでは・・ということ
で私に白羽の矢があたったのでした。

けれど、白羽の矢が当たったからと言って、すぐに引き受ける気持ちになれず、断る方向で考
えていました。断ろうと思った一番の理由は、100分の講演時間と150人という定員でした。
話す事はどちらかという苦手なうえにあがり症。150人もの前に出た時、真っ白になって立ち
尽くす自分の姿しか思い浮かびませんでした。

そう思う自分がある中、日々の生活では、マイナスに考えてしまいやすい職員には、少し角度
を変えて考えてみたらと言ってみたり、投げかけ方が弱い職員には何を伝えたいと思っている
の？と問いかけたりして、職員の背中にはばんばんに押ししているのに、自分はどうかか・・・？
と自分に問い返している自分も心の片隅にいました。そして、最終的に確実に私の心を動かした
のは、園長の「あなたには、伝えたいことはないのか？」という言葉でした。日頃、職員に言
っている言葉が、直球で私のストライクゾーンに入ってきました。

やっぱり、職員に言うだけの人間でいたくない。日頃言っていることを自分も実行してみよう！
それが、今回の私の講演チャレンジの始まりでした。

<私が伝えたかったのは・・・>

こころを語る力を子ども達自身が身につける体験がとても大切ということ。そして、子ども達
だけでなく、大人にも言えることだと私は思います。このつばさ共同保育園の日々の生活の中
でも、大人同士、何気ない一言が交わせないばかりに、些細なトラブルをよく目にするように思
います。そんな大人関係を変えていくことが、子どもの育ちをより豊かにすることに繋がっている
ことも子ども達を見ていて感じます。

子どものことを通して、大人も、こころを語る力をつけるための育ち直しが、すごく必要なん
だということを伝えたい。その思いをベースにして、自分自身の育ちを語り、今保育の現場で
できることは何かということに繋げて話してきました。

テーマ 「こころを語る力を育てる」

参加対象 幼稚園の園長・職員

<講演を終えて今、思う事>

今までの自分に一区切り。自分についてまとめられたことと、少し成長できてる自分にも気づ
ける機会となりました。心臓が潰れそうだったけれど、いい体験をさせてもらえました。